

候補者政策比較表

| | | 立候補者 | | |
|-----------|---|--|--|---------|
| 候補者 | 氏名 | 山崎孝明 | | 遠藤洋平 |
| | 政党 | 無所属 | | 無所属 |
| | URL | - | | - |
| | 現職業 | 現職区長 | | 社会保険労務士 |
| 討論会 争点 | 2020年オリンピック・パラリンピックに向けて、国際観光都市を実現するために区民の皆様を求めること、また、行政のバックアップ方法。 | 海外の方に笑顔で気楽に挨拶をするなど、おもてなしの心を持ってもらうことが大切。また、行政としては安心・安全でゴミの少ない綺麗な街を作っていく、外国の方に「また来たい」と思ってもらいたい。 | 海外の方真の友好関係を築くためにはまずは言語力が求められる。行政としては多文化共生推進の窓口の設置や交通機関の多言語対応、標識の増設、日本人と外国人の交流の場の拡充が今後必要。 | |
| | オリンピック・パラリンピック以降に予想される問題点と解決方法。 | 人口増加が続いていくことが予測されるので、これからも「江東区に住みたい」「江東区で暮らしたい」と思ってもらえるような体制づくりに力を入れる。そのために長期計画を立てて必要な体制を組み込めるような仕組みを作っている。特に高齢者や障がい者が安心して暮らせる街を作っていく。 | オリンピック開催後、大量のゴミが発生する可能性があり、清掃する費用や労力が必要となる恐れがある。また、外国人の不法滞在や跡地利用問題、オリンピックが成功裏に終わらなかった場合の観光客の減少などの問題が考えられる。そうならないために東京都や国を巻き込み、区民の意見を取り入れた議論をし、今後の街づくりに取り組む必要がある。 | |
| | 教育面、特にAIなどの最新技術の導入について | 子どもたちが増えているという現状がある中で、学校教育において学力が必要。江東区では「学びスタンダード」を実践しているが、高く設定した目標以上に早く到達している。また、体力作り、徳育に力を入れていく必要がある。また、江東区は今まで電子黒板やタブレットの導入にいち早く取り組んできたので、積極的にAIなどの導入も進めていく。 | 今後は「生きる力」、社会において通用する仕事の専門性を高めるためのキャリア教育を小・中学校から始める必要がある。また、教員と生徒の負担を減らすようなICT教育は積極的に導入していく必要がある。 | |
| 政策比較 | 経済政策(アベノミクス)について | | 4 | 3 |
| | 社会保障について | | 1 | 1 |
| | 子育てについて | | 5 | 3 |
| | 教育について | | 3 | 5 |
| | 働き方について | | 2 | 3 |
| | 女性活躍について | | 2 | 5 |
| | 災害・復興について | | 2 | 2 |
| | 中小企業について | | 5 | 2 |
| | 環境対策について | | 2 | 3 |
| 合計 | | 26 | 27 | |